

科目名	障がい者福祉論						
	【社会福祉士必修】						
授業形態	講義	学年	2年	開講時期	後期	単位数	2単位
担当教員	市川 和彦						

内容および計画	障がいは誰でもが自分あるいは家族がその生涯のうちに直面する問題と言えるでしょう。障がいとはそもそも何か、障がいに対する正しい理解、具体的なサービスや制度、支援について学びます。社会福祉士国家試験の必修科目でもあります。単なる試験対策としての学びではなく現場で役に立つ実践力を身につけてほしいので視聴覚教材、ロールプレイや事例検討なども積極的に取り入れていきます。
1	これから何を学ぶか
2	障がいとはなにか
3	障がい者福祉を支える理念（1）
4	障がい者福祉を支える理念（2）
5	国際障害分類と国際生活機能分類
6	障がい者福祉の歩み（1）
7	障がい者福祉の歩み（2）
8	障がい者に関わる法体系
9	障害者総合支援制度（1）
10	障害者総合支援制度（2）
11	障害者総合支援制度（3）
12	障害者総合支援制度（4）
13	連携する関連機関と専門職
14	海外の障がい者福祉
15	障がい者の権利擁護

教科書	タイトル	『障害者に対する支援と障害者自立支援制度』		
	著者名	社会福祉士養成講座編集委員会	出版社	中央法規
	ISBN	9784805851074	発行年	2015

参考書	市川和彦編著「虐待のない支援～知的障害の理解と関わり方～」誠信書房
-----	-----------------------------------

成績評価	評価方法		割合
	筆記試験		80%
	出席状況		10%
	受講態度		10%

学習到達目標	社会福祉士として自分がどのような支援を提供できるのか具体的なイメージでき、その方法についても活用できる支援力を身につける。
--------	---

先修条件	
------	--

その他	
-----	--